

# プレミアムドライブレコーダー TX-07C 取扱説明書



## TAXION プレミアムドライブレコーダー ご購入に際して

- ・この商品は自動車に取り付けて、前方の映像を録画する事を前提に作られたドライブレコーダーですので事故を抑制する装置ではございません。
- ・状況によって映像、録画ファイルが記録されない場合でも当社では一切責任を負いかねます。
- ・業務用途でのご使用については保証対象外とさせていただきます。
- ・また、不適切な使用および装着、改造による事故、故障、誤ったご使用方法と判断されました場合も保証対象外となっております。
- ・ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、ご使用ください。
- ・この説明書は保証書を兼ねておりますので大切に保管していただけます様、お願い致します。
- ・本機で記録された映像は、事故の証拠として効力を確実に保証するものではありません。

# 目次

## はじめに

必ずお読みください	2
安全にお使いいただくために	4
各部名称と働き	5
基本操作	6
取り付け・取り外し	8
microSD カードの装着・取り出し	10

## 基本機能の設定方法

フォーマット	11
日付設定	13
自動上書き設定	14
G-sensor	15
スクリーンセーバー	16
記録ファイルの読み出しについて	17

## 動画記録モード

動画記録モードの表示	18
動画記録モード時のボタンの機能	19
メニューとその機能	20

## 静止画記録モード

静止画記録モードの表示	22
動画記録モード時のボタンの機能	23
メニューとその機能	24

## 再生モード

再生モードの表示	26
再生モード時のボタンの機能	27
メニューとその機能	28

## 共通設定

メニューとその機能	29
-----------	----

## その他

トラブルケース	30
おかしいなと感じたら	30
トラブルシューティング	31
仕様	34
保証とアフターサービス	35
保証書	36

# 必ずお読みください

## ▲ご注意ください▲

この機器は **5V 1.5A** 対応となっており、付属したカーシガー電源アダプタでカー電圧の 12~24V を **5V 1.5A** に変圧して給電しております。このまま通常の仕様では問題ありませんが、ディーラー、工場などで **シガーソケット以外からの給電加工をする場合は必ず 5V 1.5A で給電** するように工事施工者にお伝え下さい。

※過給電によるショート故障は保証対象外であり、検査で簡単に判明いたしますのでご了承とご理解をお願い申し上げます。

なお、当製品はトラック、バスなど大型車への 24V 対応車は適合していませんのでご使用はお控えください。過電圧、ショートなどの故障原因をまねき保証対象外となります。

※本商品につきましてはSDカードは付属されていません。別途ご購入をお願い致します。

## ▲配線取り回しに際しまして▲

シガー電源DCアダプターを委託業者などに依頼される際には必ず本体と仮接続して本体、シガー電源DCアダプター等に不具合、故障などの問題が無い事をご確認のうえで行ってください。なお配線処理を行ったのちに、万が一に不具合などの発生によりシガー電源DCアダプターを取り外すなどの**作業が発生した際の取り付け、取り外し代金、工賃、その他料金の発生に関しましては一切のお支払いは出来かねますのでご了承願います。**

また、配線処理はウィンドウガラス上部に埋め込みとなる可能性がございますが、この部分はフィルムアンテナなどがあり、ごくまれに車種、車内環境、設置機器によっては電波干渉などが発生する事例もございます。

詳細は下記 ▲本体設置による電波干渉事例に付きまして▲ に記載致しますがこの場合の**配線処理に関する工賃なども同様に弁済、返金などの対応は出来かねます事を合わせてお伝え申し上げます。**

## ▲ 本体取付けによる電波干渉事例に付きまして ▲

このTX-07Cは一般的な電波干渉対応済みでございますが、これまでに地デジ、AMラジオなどの電波干渉事例が報告されております。これらの原因として少ない事例ながら統計を取ってまいりましたが、車種、年式、メーカーなど一致したデータが無く同年代の同一車種でメーカー純正の機器を搭載した場合でも発生するケースと発生しないケースがございました。車内環境は個々それぞれであり、搭載した機器、オプションなども影響すると考えられますが、現時点では100%明確な原因確証は得られておりません。現在も調査を続け、改良を重ねておりますが現状のドライブレコーダー全般の症状として起こりうる事例である事をご理解いただければと思います。

TAXIONと致しましては発生の際はご相談いただければ対応策などをご案内致しますが、上記理由より確実な解消となる対応策のご提案が困難となる場合がある事をご理解いただけます様、お願い申し上げます。

## ▲ 内蔵電池について ▲

機器の内蔵電池で録画する時は約10分～15分ほどの充電後の使用をお奨めいたしますが内蔵電池はあくまで事故などの際の給電停止による、**動画未記録を防ぐ為の緊急用であり、本体を単体で使用する充電容量はございません**ので、付属のカーシガー電源アダプタに接続してご使用ください。

## ▲ 予備充電の必要性 ▲

発送時にも確認しておりますが、商品保管中に充電が放出される場合があります、この蓄電がない状態で予備充電をせずにいきなりカーシガー電源アダプターに接続いたしますと、**セルスタート時の過電圧で破損する可能性がまれにございます**。

**エンジンをかけました後、接続、充電を行ってください。**










この商品に限らずリチウムイオンを持った電化製品に僅かではございますが可能性としての症状であることをご理解ください。

# 安全にお使いいただくために

- ・記載された項目は安全に関する重要な内容ですので必ず施行してください。









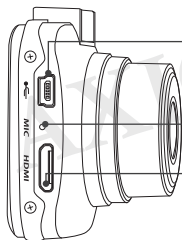
## 警告

-  視界の妨げになる場所、運転操作を妨げる場所には絶対に取付けしないでください。事故や怪我の原因になります。
-  エアバックのカバーや動作の妨げになる場所には絶対に取付けしないでください。動作したエアバックで本機が飛ばされ、事故や怪我の原因になります。
-  走行中に落下する事の無いように取付けに注意してください。
-  取付けには必ず付属の部品を使用してください。指定外のマウントや改造したマウントを使用すると、落下により事故や怪我の原因になります。
-  異臭や異音など通常と異なる機器の異常を感じられましたら、直ちにご使用を中止してください。そのままご使用になると事故、火災や感電の原因になります。
-  分解、改造をしないでください。事故、火災や感電の原因になります。
-  水中での使用、バッテリーの火中への投入、異物の混入などは絶対にしないでください。
-  その他、車内用ドライブレコーダー以外の用途でのご使用はされないようお願い致します。
-  細かい部品は乳幼児の手の届かないところに保管してください。誤って飲み込む等の事故につながります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



## 注意

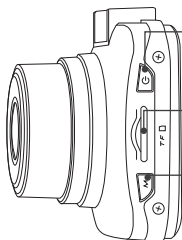
-  説明書に従って、正しく取付けてください。
-  電源コードを車両の可動部分ではさまないようにしてください。通信異常の原因、断線、ショートの原因となります。
-  落下させたり強い衝撃を与えないでください。
-  高温になる場所に長時間放置しないでください。
-  機種ファームウェアのバージョンによって機能、メニュー名称が異なる場合がございます。
-  録画中にメニュー操作を行う事は出来ません。1度OKボタンを押して録画を停止をしてからメニュー操作を行ってください。

**miniUSB ポート**

カーシガー電源アダプターの接続、パソコンへの接続を行います。

**マイク****HDMI 出力ポート**

外部モニターへの映像出力を行います。

**電源ボタン****microSC カード挿入口**

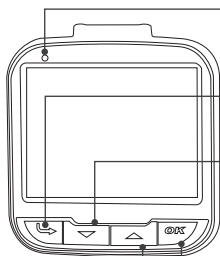
microSD カードを挿入します。

**メニューボタン/ホールドボタン**

メニューを表示します。  
録画中に押すことでそのファイルをロックする事ができます。

**電源供給ランプ**

電源供給時に赤く光ります。  
電源が ON になると青色も点灯し録画中は点滅します。

**モードボタン**

動作モードの変更を行います。

**選択ボタン (▼ボタン)**

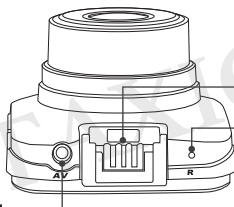
設定項目の選択、音声録音のオン/オフの選択が出来ます。

**選択ボタン (▲ボタン)**

設定項目の選択を行います。

**OK ボタン**

録画開始、選択決定などを行います。

**マウント取付けレール**

同梱品のマウントを取付けます。

**リセットボタン**

再起動

**AV 出力端子**

オーディオ/ビデオの出力をします。

# 基本操作方法

## 1) 電源 ON/OFF

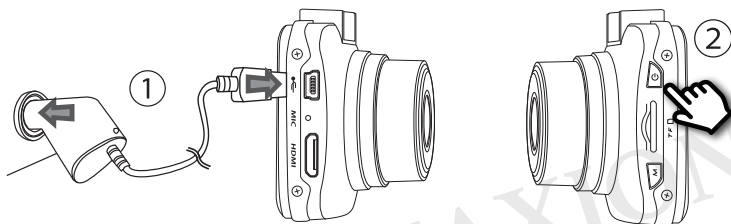
同梱のシガー電源アダプタを接続します。

①シガー電源アダプタの miniUSB 端子を本体に繋ぎシガープラグをお車のシガーライターソケットに差し込んで下さい。

エンジンをスタートすると電源が供給されて、本機の電源が自動的に入ります。

microSD カードが挿入されている状態でエンジンスター、ストップすることでカーシガー電源が ON/OFF する為、連動して自動的にビデオ録画を開始・終了させることができます。

起動中に ②ボタンを長押しすると、録画中のファイルを保存後電源が切れます。



## 2) ビデオ録画

①録画中に OK ボタンを押すと録画中のファイルを保存後に停止します

録画停止をすると②“ビデオ録画スタンバイ状態”となります。

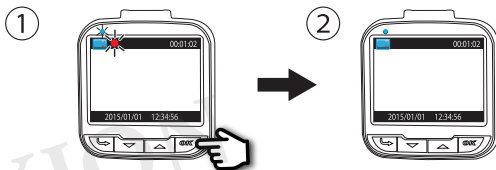
③“ビデオ録画スタンバイ状態”で OK ボタンを押すと録画を開始し、ファイルを分割して保存します。

(分割時間は自動上書き設定で変更できます。)

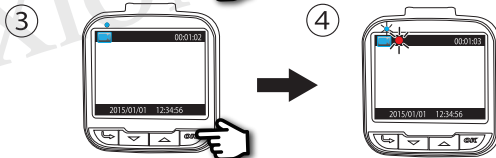
④録画中は液晶画面の左上の赤丸が点滅し、右上に録画経過時間を表示します。

録画中に選択ボタン(上・下)を押すと電子ズーム機能(最大4倍)が動作します。

録画停止



録画開始



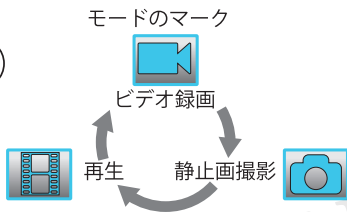
### 3) モード切替 (ビデオ録画、静止画撮影、再生)

動作にはビデオ録画、静止画撮影、再生の3つのモードがあり、①モードボタンを押すと変わります。(液晶画面の左上にモード表示)

モードはビデオ録画、静止画撮影、記録ファイルの再生の順に切り替わります。現在のモードは画面左上のマークで確認することができます。

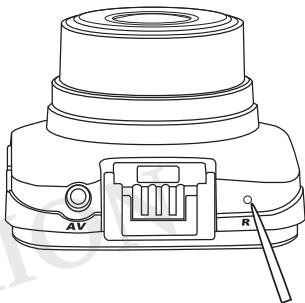


①



### リセットボタンについて

動作しなくなったり、誤作動を起こした時は、本体上部のリセットボタンを先の尖った物で押してシステムを再起動させてください。

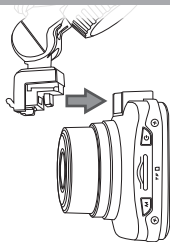




## 取り付け・取り外し方法

1) 脱着用ソケットに取付マウントを矢印の方向にスライドさせ、本体を取付マウントに装着します。

※カメラのレンズに触れないように取り付けて下さい。レンズに触れてしまうと、レンズが曇り、鮮明な映像がとれなくなる恐れがあります。

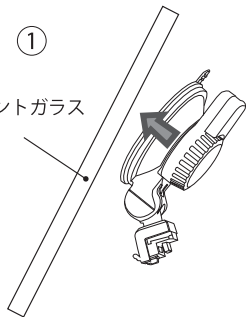


2) ①取付マウントをフロントガラスに押し当てた状態でレバーをロックの方向へ回すことで吸盤が密着します。

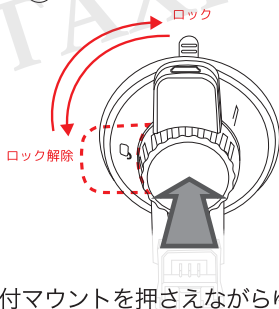
※凹凸やホコリなどがあると空気が入ってしまい密着せず取付マウントがフロントガラスからとれてしまう恐れがあります。

①

フロントガラス



②



3) 本体の向きを調整する場合は、取付マウントを押さえながらゆっくりと本体を動かし上下左右へと動かして下さい。

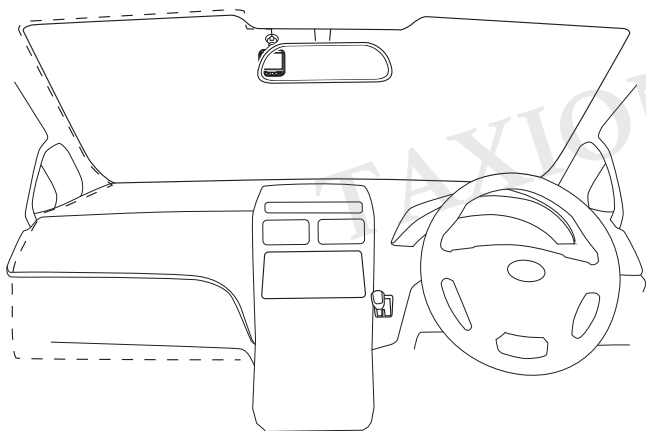
※水平の調整は吸盤の取り付ける向きで調整をしてください。取付マウントのジョイント部分では水平調整は行えません。無理に水平調整を行おうとすると取付マウントが破損する恐れがあります。

## ※取り付けに関する注意※

- ・フロントガラスの上部 20% の範囲内に取り付けて下さい。※ 1
- ・吸盤に空気が入り込まない平らな部分にしっかりと固定して下さい。
- ・視界の妨げにならないように取り付けして下さい。
- ・ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けて下さい。
- ・ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けして下さい。
- ・車検証ステッカー等に重ならないように取り付けして下さい。
- ・エアバッグの動作や運転に妨げにならないように取り付けして下さい。
- ・ナビ（地デジアンテナ等）や ETC の配線と本機、また本機の電源コードを極力離して配線を行なって下さい。

※電波干渉の対策がされていない機器に影響が出る恐れがあります。

## 配線例



- ※ 1 バックミラー付近のウインドウガラスに黒い突起物（サンシェード）などが付いている場合はガラス面に吸盤を設置していただくか、やむなく突起物上に貼る場合は油分をよくふき取ったうえで付属のシールをご使用にて取り付けしてください。（なお、このシールは突起物上に取り付けの事を推奨するものではありませんのでご了承ください）

## micro SD カードの装着・取り出し

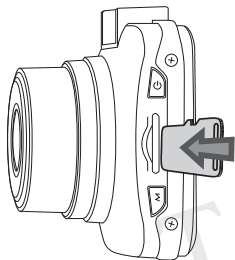
1) 電源を OFF にした状態で、micro SD カード挿入口に micro SD カードを『カチッ』と音がするまで押し込んで下さい。

※図の向きに合わせて入れて下さい。

2) 取り出す際も電源を切って下さい。本体に入っている micro SD カードをもう一度奥に押し込むことで取り出すことが可能です。

※勢い良く飛び出す恐れがございますのでご注意ください。

※飛び出した際の micro SD カードの紛失にご注意下さい。



### ※注意※

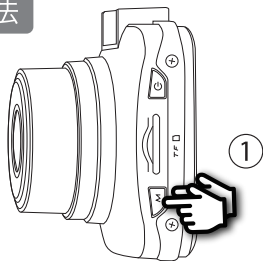
- ・必ず電源を OFF にしてから microSD カードの出し入れを行なって下さい。
- ・micro SD カードは一方方向にしか入りません。micro SD カードを上記の図のように挿入して下さい。無理に差し込むと、本体や micro SD カードが壊れることがあります。
- ・micro SD カードは必ず本機でフォーマットしてから使用して下さい。
- ・本機は、4GB 以上、32GB 以下の micro SDHC カードに対応しています。  
(SD スピードクラス「Class6」以上)
- ・事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず電源を OFF にしてから micro SD カードを抜いて保管して下さい。

## フォーマット

本機で初めて使う micro SD カードは必ず本機にてフォーマット（初期化）を行なってからご使用下さい。また、SD カードは一か月に一度はフォーマットされます様お願い致します。フォーマットせず使用されますと設定や時刻のリセット、録画停止などの不具合が発生する事があります。

※本機及び PC でフォーマットを行わないと正しく記録されない恐れがあります。

### 設定方法



①スタンバイ状態でメニューボタンを2回押します。

②下矢印を押して『フォーマット』を選択します。

③OK ボタンを押して決定します。

SD カードと表示されますので、④OK ボタンを押して決定します。



図のような画面が表示されます。

⑤下矢印を押して『確認』を選択します。

⑥OK ボタンを押して決定します。



画面に『お待ちください』と表示されます。

その状態で何も操作をせずお待ちください。



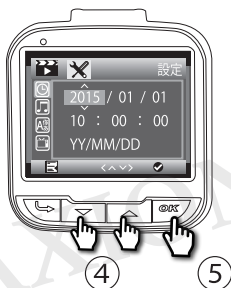
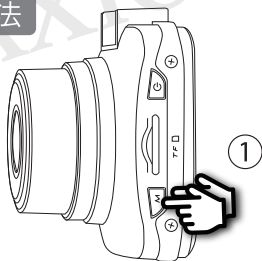
メニュー画面に戻るとフォーマット完了です。

## 日時設定

日付は画面に表示させて記録することも可能です。

また、記録されたファイルの日時としても利用されるものですので、ご使用になる前に日時設定を行ってください。

### 設定方法



①スタンバイ状態でメニューボタンを2回押します。

②下矢印を押して『日/時刻』を選択します。

③OK ボタンを押して決定します。

④任意の数値を上下矢印ボタンを押して選択します。

⑤年、月、日、時、分、秒の設定毎にOK ボタンを押して次項へ進めます。

3段目のYY/MM/DDは日付の並び順を表します。

設定が完了したらメニューボタンを押すとその時点から時間が進み始めます。

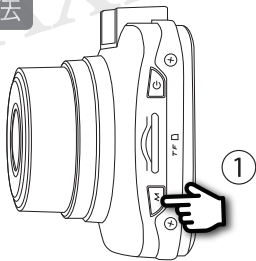
## 自動上書き設定

録画中にメモリーカードの容量が満量近くなると録画フォルダー内の古いファイルを順次削除して、再度データを記録していきます。

自動上書き設定を使用する場合は設定値で1つの録画ファイル長さを設定します。

※設定を「オフ」にするとファイルの上書きはされません。ファイルが容量を満たした時点で電源がOFFになる恐れがあります。

### 設定方法



①ビデオ録画のスタンバイ状態でメニューボタンを押します。

②下矢印を押して『自動上書き設定』を選択します。

③OK ボタンを押して決定します。

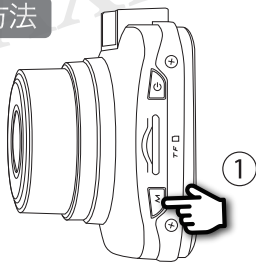
④任意の数値を上下矢印ボタンを押して選択します。オフ/1分/3分/5分/10分から選択いただけます。

⑤OK ボタンを押し、設定完了です。設定が完了すると、一つ前のメニュー画面に戻ります。

## G-sensor

一定以上の振動を検知すると録画しているファイルをロックし、容易には消去できないようにします。ロックされるショックの程度は初期設定で設定します。

### 設定方法



①ビデオ録画のスタンバイ状態でメニューボタンを押します。

②下矢印を押して『Gsensor』を選択します。  
③OK ボタンを押して決定します。

④任意の数値を上下矢印ボタンを押して選択します。オフ / 高反応 / 通常反応 / 低反応 から選択いただけます。  
⑤OK ボタンを押し、設定完了です。設定が完了すると、一つ前のメニュー画面に戻ります。

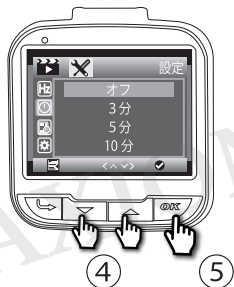
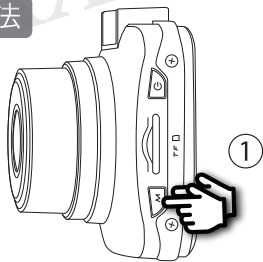


## スクリーンセーバー

ビデオ録画中に設定時間が経過すると液晶画面のみを消灯させる機能です。夜間に液晶画面の光が眩しく運転に支障をきたす恐れがある場合に設定をすることが可能です。

※液晶画面が消えても録画は継続されます。

### 設定方法



①スタンバイ状態でメニューボタン2回を押します。

②下矢印を押して『スクリーンセーバー』を選択します。

③OK ボタンを押して決定します。

④任意の数値を上下矢印ボタンを押して選択します。オフ/3分/5分/10分から選択いただけます。

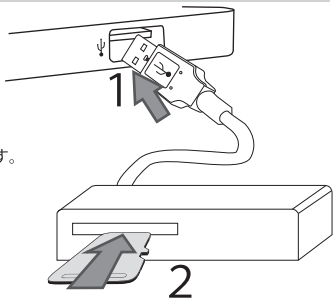
⑤OK ボタンを押し、設定完了です。設定が完了すると、一つ前のメニュー画面に戻ります。

# 記録ファイルの読み出しについて

各ドライブレコーダーで記録した画像や映像は、パソコンで扱うことができます。

## microSD カードを直接パソコンと接続する

- 1 microSD カードに対応しているカードリーダーをパソコンに接続します。  
※microSD カードを直接接続できるパソコンの場合は、カードリーダーを接続する必要はありません。また、SD カードへの変換アダプタを利用してパソコンへ接続することも可能です。

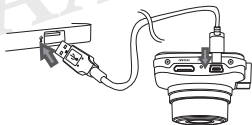


- 2 microSD カードをカードリーダーに挿入します。
- 3 パソコン上で認識された microSD カードを開き、DCIM フォルダを開きます。
- 4 目的のファイルをダブルクリックします。

※Windows 標準の Windows Media Player で再生する事ができます。  
Mac の場合は Quick Time Player など再生できます。

## ドライブレコーダーを直接パソコンと接続する

- 1 付属の USB ケーブルを使いドライブレコーダー本体の mini-USB からパソコンの USB 端子に接続します。



※microSD カードの抜き差しは必ず本機器の電源をオフにした状態で行ってください。  
データの破損、及びメモリーエラーになる事があります。

- 2 ドライブレコーダーが接続を確認すると電源が入り「ディスク」「充電」「PC カメラ」からメニューを選ぶ画面が立ち上がります。「ディスク」を選択すると、パソコン側でドライブレコーダーをカードリーダーとして認識します。  
パソコンで DCIM フォルダを開き、目的のファイルを再生する事が可能です。



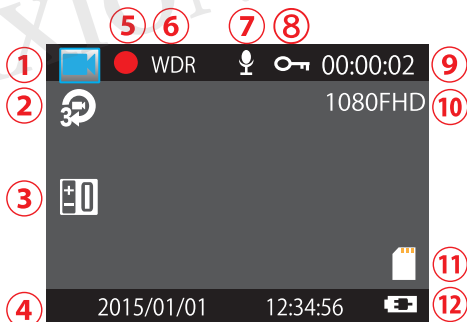
## ファイルについて

記録ファイルは microSD カードの容量により記録時間が異なります。  
記録されたファイルは microSD カードの容量がいっぱいになると古いものから順に上書きされます。

※記録時にファイルホールド機能を使う事で上書きされずファイルを残す事が可能です。

## 動画記録モードの表示

動画記録モードでは、電源オンからオフまでの間、連続して動画を記録します。(常時録画)



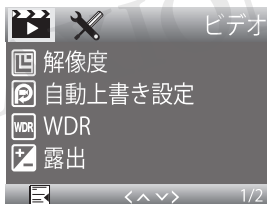
①モード表示	現在のモードを表示します。
②自動上書き設定	自動上書きが設定されていることを表します。
③露出設定	現在の露出設定を表します。
④日時	日時を表示します。
⑤録画状態	ビデオ録画がされている場合に点滅します。
⑥WDR	WDR が設定されていることを表します。
⑦録音	録音されていることを表します。
⑧ファイルロック	ビデオ録画中にロックボタンを押し記録中ファイルをロックした際に表示されます。
⑨録画時間	記録時間が表示されます。 スタンバイ状態では記録時間の累計が表示されます。
⑩記録画像サイズ	現在の記録サイズを表示します。
⑪microSD カードの有無	microSD カードが挿入されている際に表示されます。
⑫電源状態	電源の状態を表します。 カーシガー電源から供給されている場合、 図の様な絵が点滅します。

※ファームウェアのバージョンにより、内容が変更される事があります。

## 動画記録モード時のボタンの機能

ボタン	説明
MODE ボタン	動作モードを変更します。
MENU ボタン	スタンバイ時に動作します。1回押すと動画記録モードの設定メニューへ。もう一度押すと、共通の設定メニューへ。
OK ボタン	動画記録中に押すと、動画記録を停止します。 スタンバイ時に押すと、動画記録を開始します。
電源ボタン	長押しをすると電源のオン/オフが行えます。
ホールドボタン	動画記録中に押すと記録中のファイルを簡単に削除できないようになります。

録画スタンバイ状態でメニューボタンを押す事で各種設定を確認／変更する事ができます。



☆は初期設定値です。

項目	設定	説明
解像度	1080FHD (☆) 720P 60FPS 720P 30FPS WVGA VGA	動画記録の解像度を選択します。 ※1080FHD が一番大きく撮影できますがその分ファイル容量が大きくなります。 ※ファイルサイズが一番大きくなってしまいうのは720P 60FPS で撮影した場合です。
自動上書き設定	オフ 1分 3分 (☆) 5分 10分	1つの録画ファイルの長さを選択します。
WDR (HDR)	オン／オフ (☆)	WDR モードのオン／オフの選択をします。 ※暗いところを明るくし明暗を平均化する機能です。 暗い部分を補正するため、画像が劣化することがあります。
露出	+2.0 ∩ ±0 (☆) ∪ -2.0	露出（明るさ）の選択をします。 ※数字が大きいほど明るく撮影する事が可能です。 ※明るくしすぎると画面全体が白くなってしまい綺麗に撮影できない事があります。
録画な音声	オン (☆) / オフ	録画中の音声録音のオン／オフの選択をします。
Gsensor	オフ 高反応 通常反応 (☆) 低反応	G-センサーの感度の選択をします。 ・強い衝撃を感じた際に、録画中ファイルが容易に削除されないようロックをする機能です。 ※高いに設定すると段差や悪路などでも反応する事があります。
日付表示	オン (☆) / オフ	記録動画への日付表示のオン／オフの選択をします。

※ファームウェアのバージョンにより、内容が変更される事があります。

ボタン	説明
▽ボタン	項目や設定値を選択します。
△ボタン	項目や設定値を選択します。
OK ボタン	項目や設定値を決定します。
MENU ボタン	共通の設定メニューまたは、動画記録画面へ戻ります。

## 静止画記録モードの表示

静止画記録モードにすると、デジタルカメラのように静止画を撮影できます。



①モード表示	現在のモードを表示します。
②露出設定	現在の露出設定を表します。
③ホワイトバランス	現在のホワイトバランス設定を表示します。
④ISO 感度	現在の ISO 感度を表します。
⑤手振れ防止アイコン	手振れ防止が ON の時に表示されます。
⑥連写	連写モードが ON の時に表示されます。
⑦HDR	HDR が設定されていることを表します。
⑧撮影可能枚数	残りの撮影可能枚数を表示します。
⑨解像度	設定中の解像度が表示されます。
⑩画質アイコン	記録画質を★の数で表示します。
⑪microSD カードの有無	microSD カードが挿入されている際に表示されます。
⑫電源状態	電源の状態を表します。 カーシガー電源から供給されている場合、 図のような絵が点滅します。

※ファームウェアのバージョンにより、内容が変更される事があります。

### 静止画記録モード時のボタンの機能

ボタン	説明
MODE ボタン	動作モードを変更します。
MENU ボタン	1 回押すと動画記録モードの設定メニューへ。 もう一度押すと、共通の設定メニューへ。
OK ボタン	静止画を撮影するシャッターボタンとなります。
電源ボタン	長押しをすると電源のオン/オフが行えます。
△ボタン	デジタルズームを最大 4 倍まで行う事が出来ます。
▽ボタン	デジタルズームを戻します。

### 設定操作時のボタンの機能

ボタン	説明
△ボタン	項目や設定値を選択します。
OK ボタン	項目や設定値を決定します。
▽ボタン	項目や設定値を選択します。
MENU ボタン	共通の設定メニューまたは、動画記録画面へ戻ります。



静止画記録モードの設定を確認・変更します。

静止画記録モード時にメニューボタンを押すことで設定可能です。

☆は初期設定値です。

項目	設定	説明
撮影モード	単写 (☆) 2S タイマー 5S タイマー 10S タイマー	設定を変更することでセルフタイマーを作動できます。
解像度	12M ↳ 5M (☆) ↳ 1.3M	静止画記録の解像度を選択します。 ※12M が一番大きく撮影できますが、ファイルサイズが大きくなるため撮影可能枚数が少なくなります。
連写	オン/オフ (☆)	3枚連写のオン/オフの選択をします。
画質	ファイン ノーマル (☆) エコノミー	画質の設定をします。 ※ファインが一番綺麗に撮影できますが、ファイルサイズが大きくなるため撮影可能枚数が少なくなります。

※ファームウェアのバージョンにより、内容が変更される事があります。

☆は初期設定値です。

項目	設定	説明
シャープネス	ストロング ノーマル (☆) ソフト	静止画撮影の風合いの調整を行います。
AWB (ホワイト バランス)	オート (☆) 晴天 曇天 タングステン 蛍光灯	ホワイトバランスを設定します。
カラー	カラー (☆) 白黒 タン	静止画撮影のカラーの選択をします。 ※タンはセピア調に撮影する際にしよします。
ISO	オート (☆) 100 200 400	ISO 感度を選択します。
露出	+2.0 ? ±0 (☆) ? -2.0	明るさを調整します。 ※数字が大きいほど明るく撮影する事が可能です。 ※明るくしすぎると画面全体が白くなってしまい 綺麗に撮影できない事があります。
手ぶれ防止	オン/オフ (☆)	手ぶれ補正のオン/オフの設定を行います。
HDR	オン/オフ (☆)	HDR モードのオン/オフの選択をします。 ※暗いところを明るくし明暗を平均化する機能です。 暗い部分を補正するため、画像が劣化することがあります。
日付表示	オフ 日時 日/時刻 (☆)	日付表示の設定を行います。

※ファームウェアのバージョンにより、内容が変更される事があります。

## 再生モードの表示

再生モードにすると、記録した動画ファイル、静止画ファイルを再生することができます。



①モード表示	現在のモードを表示します。
②再生アイコン	再生モード時に本体のボタン割り当てられた機能を表示します。
③ファイル番号	ファイルに割り当てられる番号を表示します。
④解像度	撮影時の解像度を表示します。
⑤日付	撮影日を表示します。
⑥時間	撮影時の時間を表示します。
⑦電源状態	電源の状態を表します。 カーシガー電源から供給されている場合、 図の様な絵が点滅します。

※ファームウェアのバージョンにより、内容が変更される事があります。

## 再生モード時のボタンの機能

ボタン	動作	機能
△ボタン	ファイル選択時 ファイル再生時	次のファイルを表示 巻き戻し
▽ボタン	ファイル選択時 ファイル再生時	前のファイル 早送り
MENU ボタン	再生モードの設定メニューを開きます。 もう一度押すと、共通の設定メニューが開きます。	
OK ボタン	動画ファイルの再生／一時停止	

※音量はメモリ表示がありますが、固定となっており本体側で調整する事は出来ません。

## メニューとその機能

再生モード表示中に、メニューボタンを押すことで下記のメニューが表示されます。



削除	現用ファイルを削除する	表示中のファイルを削除します。
	全コマ削除	SD カード内の全てのファイルを削除します。 ※ファイルが保護（ロック）されているものは削除されません。削除する場合は、全てのファイルの保護を解除して下さい。
保護	現時点ロック	表示中のファイルを保護します。
	ロック解除	表示中のファイルの保護を解除します。
	オールロック	全てのファイルを保護します。
	全コマロック解除	全てのファイルの保護を解除します。

※ファームウェアのバージョンにより、内容が変更される事があります。

## 設定操作時のボタンの機能

ボタン	説明
△ボタン	項目や設定値を選択します。
OK ボタン	項目や設定値を決定します。
▽ボタン	項目や設定値を選択します。
MENU ボタン	共通の設定メニューまたは、動画記録画面へ戻ります。

# 共通設定

共通設定は、動画・静止画に共通した設定です。  
両モードでメニューボタンを2回押すと設定を確認・変更することが可能です。

## メニューとその機能

☆は初期設定値です。

項目	設定	説明
日/時刻	—	日時を設定します。
電子音	オン(☆) / オフ	ボタン操作時の音のオン/オフの切り替えをします。
言語	日本語(☆) English その他言語	メニュー表示の言語を選択します。
TVモード	PAL(☆) NTSC	テレビの映像方式を選択できます。 近年ではどちらでも対応している事が多いですが、記録した映像をテレビで再生した際に画像が上手く表示できない際は、NTSCに変更をすることをオススメします。
電源周波数	50Hz(☆) 60Hz	使用している地域の商用周波数に合わせてください。 東日本：50Hz 西日本：60Hz 記録撮影時に蛍光灯などのちらつきを防止し記録します。
スクリーンセーバー	オフ(☆) 3分 5分 10分	常時録画時、液晶モニターのみを消す際に設定します。
フォーマット	確認/キャンセル	挿入されている microSD カードを初期化します。 初回使用時、または他で使用された microSD カードを使用する際は必ずフォーマットを行ってください。 メモリーエラー表示がでましたら、このフォーマット処理を行ってください。
デフォルト設定	確認/キャンセル	全ての設定を商品出荷時の状態に戻します。 動作がおかしい場合などにご使用ください。 ※日本語表示以外に設定されたお客様は日本語表記に戻りますので、ご注意ください。 設定前に言語設定の位置などをご確認ください。
バージョン	—	現在のソフトウェアのバージョンを確認します。

### 録画出来ない。画面表示しない・・・

#### 充電操作を行ってください。

- ・充電中パソコンのUSBポートが有効であるかどうか、パソコンの省電力設定で電源が供給されない設定になっていないことをお確かめ下さい。
- ・充電供給時はフロントパネルのLEDランプが赤になります
- ・パソコンのUSBポートへ差し込むときは、電源OFFの状態ですれ込んでください。また、機器認識まで時間を要する場合があります。30秒程度お待ちいただくか、再度差し込んでください。(特殊なドライバーのインストールは必要ありません。)

車始動時にカーシガー電源アダプター接続の場合、画面が自動的に立ち上がりますが、車種によって電源の供給力設定が違うため、まれに電力不足で画面が映らない事例がございました。

その際は一度miniUSB、カーシガー電源アダプターなどを外していただき、再起動などをさせてみてください。

不具合の原因が本体ではなく、カーシガー電源アダプター、miniUSBケーブルにある可能性もございます。

**独自の判断をせず、保証書記載のTAXION（タキオン）サポートセンターまでご相談ください。**

e-mail：[support@yao-yoroz.com](mailto:support@yao-yoroz.com)

### おかしいな？と感じたら（動作異常）

- 1) 動作がおかしくなった場合、リセット穴をクリップの先端で押しリセット処理をして下さい。機器がリセットされ初期動作可能な状態に復帰する場合があります。また本体の内蔵電池が充電されているか確認後、充電されていない場合は充電をしてください。
- 2) メモリーカードのメモリー残量が少なくなると、記録された古いファイルを削除して記録していきますので、古いファイルで保存必要な録画記録は、**あらかじめ別の媒体にコピー**しておいて下さい。
- 3) 未フォーマット、他の機種で使用したmicroSDカードを差し込むと「メモリーエラー」の表示が出る事があります。初回使用の際は**必ずフォーマット処理**を行ってからご使用ください。

- ・録画が出来ない！
- ・録画が開始するとすぐに停止してしまう！
- ・録画が開始すると本体の電源が落ちてしまう！
- ・短時間で日時設定がリセットされてしまう！

この様なトラブルの場合に考えられる原因として、microSD カードの容量がいっぱいになってしまっていることが考えられます。

自動上書き（循環録画）機能がついているのになぜ？と思われるお客様もいらっしゃると思いますので、その理由と対処方法をご説明させていただきます。

当店のドライブレコーダーには、自動上書き設定の他に様々な機能がございます。

- ・ Gsensor
- ・ スクリーンセーバー

これらの機能の特性上、引き起こされる症状である場合が多くあります。

## 1. G-sensor

G-sensor 機能は、ある一定以上の衝撃が本体に加わると記録中のファイルをロックし自動上書き機能では削除できないようにする機能です。

事故など大きな衝撃が加わった瞬間の録画データを保護する目的の機能ですが、このロックされたファイルは蓄積されると microSD カードの容量を圧迫する原因となります。そのデータで microSD カード内がいっぱいになってしまうと、通常の録画ができなくなってしまいます。録画ができない状態のカードとドライブレコーダーが認識してしまうと、録画を開始してもすぐに停止してしまったり、本体の電源を強制的にオフにする、本体時間設定がリセットされる、などの誤作動の原因となります。

G-sensor は感度を調節することが可能です。



→Gsensor の感度を調整する方法

1. 録画スタンバイ状態で動画記録モードになっていることをご確認ください。
2. メニューボタンを1度押して動画設定メニューに進んで下さい。
3. 下矢印ボタンを7回押してカーソルを「Gsensor」に合わせてください。
4. OK ボタンを1度押して下さい。
5. 「オフ」「高反応」「通常反応」「低反応」の中から「通常反応」を選び OK ボタンを押してください。  
OK ボタンを押すとメニュー画面に戻り設定完了です。

※ここでの記載の(高反応)は Gsenser での感度となっております。

『高反応』などを選択された場合は僅かな振動も機能してしまい、ロックされたファイルが microSD カード内に蓄積され、新たな撮影記録をすることが出来なくなってしまう現象など、誤作動発生のおそれがあるため、コマメなフォーマット作業を行っていただく必要がございます。

弊社では通常走行では『通常反応』を推奨しております。

## 2.スクリーンセーバー

録画中であっても、一定時間ボタン操作が行われないと LED 液晶画面をオフにする機能で、LED 液晶画面が付いていると気になってしまい運転の集中力が散漫になってしまうことを防ぎます。画面が消えても録画はされ続けます。しかし、画面が消えることで故障であると思われるお客様も多くいらっしゃいます。少しでも不安のあるお客様はこの機能をオフにして常時液晶画面を点灯させておく事をおすすめします。

→スクリーンセーバー機能をオフにする方法

1. 録画スタンバイ状態で動画記録モードになっていることをご確認ください。
2. メニューボタンを2度押して共通設定メニューに進んで下さい。
3. 下矢印ボタンを8回押してカーソルを「スクリーンセーバー」に合わせてください。
4. OK ボタンを1度押して下さい。
5. 「オフ」「3分」「5分」「10分」の中から「オフ」を選び OK ボタンを押して下さい。 OK ボタンを押すとメニュー画面に戻り設定完了です。

以上の内容に当てはまらない場合に考えられることといたしまして、microSD カードが**本ドライブレコーダー用にフォーマット（初期化）されていない**ことがあります。また、容量がいっぱいになってしまった際にも記録データをパソコンなどに移動させた後、再度フォーマットをしてからご使用になることをおすすめしています。

→microSD カードのフォーマット（初期化）方法

1. 録画スタンバイ状態で動画記録モードになっていることをご確認ください。
2. メニューボタンを2度押して共通設定メニューに進んで下さい。
3. 下矢印ボタンを9回押してカーソルを「フォーマット」に合わせてください。
4. OK ボタンを1度押して下さい。
5. 「SD カード」と表示されたら、そのままもう一度 OK ボタンを押して下さい。
6. 「全てのデータが削除されます」と表示されますので、下矢印ボタンを1度押して「確認」を選んで下さい。
7. OK ボタンを押して下さい。
8. 画面に「お待ちください」と数秒間表示されフォーマット作業が行われます。
9. フォーマット作業が終了するとメニュー画面に戻り設定完了です。

※SD カードは1ヶ月に一度ほど、出来るだけフォーマットをしてご使用ください。またSD カードの耐年数は使用料にもよりますが、約1年ですので消耗品とお考えいただき一定期間での交換をお勧め致します。

耐年数を過ぎたSD カードのご使用は機器の不具合、未録画にもつながる事がございます。**SD カードは繰り返し録画される回数で消耗していきますので容量の小さなSD カードはそれだけ消耗度合いが早くなりますので、16~32GB クラスのものをお奨めいたします。**

その他のトラブルシューティングは下記 web サイトで随時更新をしています。合わせてご覧ください。

<http://taxion.jp/taxiontx-07c-support.html>

電源電圧	本体：DC5V
消費電力	5 W
カメラ素子	300 万画素 CMOS
レンズ視野角	対角約 170°
液晶モニター	2.0 インチ TFT 液晶
画像サイズ	動画：最大 1080P 30fps      静止画：最大 12M
記録媒体	microSD カード（最大 32GB）（class6 以上推奨）
記録形式	動画：MOV/H.264      静止画：JPEG
動作温度範囲	0℃ ～ +70℃
外径サイズ	約 54×54×36mm（突起部除く）
重量	本体 約 60g

- 本取扱説明書に従って、正常な使用状態において保証期間中に故障が発生した場合  
お買い上げ日より180日以内に限り無償で修理致します。  
尚、本製品の不具合に起因する損害および故障については保証対象外とさせていただきます。
- 保証期間内であっても、以下の項目に該当する場合には有償修理にさせていただきます。
  - ①本書の提示およびお買い上げ日・販売店印のないもの、または偽造コピーされた保証書。
  - ②使用上の誤りまたは許可を得ていない不当な改造や修理による故障や損傷。
  - ③販売後の輸送および落下による故障。
  - ④地震、水害、落雷、ガス害、塩害、その他天災地変、異常電圧による故障または損傷。
  - ⑤接続しているその他の機器に起因する故障および損傷。
  - ⑥国外で使用された場合。本保証書は国内においてのみ有効です。
  - ⑦指定以外の使い方、特殊な使用による故障および損傷。
  - ⑧タクシー、運搬業など運送業務でのご使用による故障および損傷。  
(本製品は一般家庭でのご使用を前提としております。トラックなど 24V 使用時保証対象外)
- 修理ご依頼に際しまして  
正常使用、付属の簡易取扱説明書をご確認いただき、かならず充電コードを抜いて、  
お買い上げ販売店又は弊社にご連絡下さい。**お客様からの自己判断、見解、申告による  
故障状況報告のみ**での安易な交換依頼はお受けしておりません。  
不具合発生時の画像などを添付戴けると迅速な対応が可能となります。  
**基本的な流れは**、不具合の機器をお預かりして症状を確認した上での処理となります。  
その際に返信用の封筒を発送いたしますので、メーカー、販売店からの  
連絡がございませうまで、お待ちくださいますようお願い申し上げます。

### ●保証期間を過ぎているとき

修理をすれば使用できる場合には、ご希望により有償で修理させていただきます。  
修理料金の仕組みは、技術料・部品代となっています。  
※出張修理は一切行っておりません。

### ●修理後の保証

修理に対する保証期間は商品お引き渡し後1週間です。  
但し、無償保証期間が残存する場合は、販売店印・お買い上げ日記載のある  
保証書の保証規約のもと、メーカー保証期間を優先します。

・技術料：故障した商品を正常に修復するための料金です。・部品代：修理に使用した部品代です。"

当社でのご返金処理と判断した際には、オプションを含むすべての付属品をご返品いただけない場合は  
全額のご返金に応じられませんので、ご了承のほどお願い申し上げます。





販売元：株式会社 Yao-Yoroz

住所：〒103-0004 東京都中央区東日本橋 2 丁目 28 番 4 号 日本橋 CET ビル Office 2 F

E-mail：support@yao-yoroz.com

TEL：03-6804-0018

受付時間：土、日、祝祭日を除く

AM 10:30 ~ 12:00 / PM 13:00 ~ 17:00

※お電話での対応はお客様との履歴が残らない事から、確実な内容確認の為、  
ご対応、ご案内はメールでの対応とさせていただきます。